

〔天寶八載〕十月九姓拔曳固大毗伽都督默每十人來朝

(四) 冊府元龜卷九 七四 褒異篇に

〔開元三年〕十月己未授北蕃投降九姓思結都督磨散爲左衛將軍

通鑑開元三年九月の條に前項の事實を

九姓思結都督磨散來降

(五) 冊府元龜卷九 七四 褒異篇に

〔開元七年〕三月壬子帝御丹鳳樓、宴九姓同羅及契丹

(六) 冊府元龜卷九 七一 朝貢篇に

〔大曆七年〕四月九姓同羅都督末睨曳獻野馬勝皮甲

(七) 舊唐書卷九 七 張說傳に

開元八年……時并州大同橫野等軍有九姓同羅・拔曳固等部落

等と見ゆ、之によれば開元より大曆の頃、即ち史に九姓回鶻の名の見ゆる前に於ても後に於ても、此等の拔曳固・思結・同羅等の鐵勒諸部が九姓の名を冠せしことは明らかなり、而して此等の諸部が各々九姓と稱する所以は、彼等が不思議にも各々皆九姓より成りしが爲には非ずして、却りて九姓鐵勒即ち鐵勒の九姓團體中の一姓に屬したるが爲に外ならざる可きは、甚だ曉り易き所なりとす。

更に他の例證を求むるに、